

令和4年 8月 10日

報道機関 各位

第18回アルミニウム合金国際会議 (ICAA18) を 富山で開催

■ ポイント

- ・ 2年毎に開催される世界最大のアルミニウム合金国際会議を2022年9月に富山で開催。
- ・ ゼロカーボンをメインテーマに、300余件の研究・技術開発の発表を予定。
- ・ 無料参加できる「世界に誇る日本のアルミ産業」を俯瞰できる企画展示をご用意。

■ 概要

国際アルミニウム合金国際会議 (ICAA) は、アルミニウムの科学、技術、応用に関する最近の進展について、学術研究者や科学者、技術者が一堂に会して議論する国際会議で、2022年の日本・富山は、コロナウィルスに配慮したICAAとしては初の対面とオンラインを併用したハイブリッド形式での開催を9月5日～9月8日の日程で計画しています。すでに300件近い研究発表申込みを終え、最終プログラムが近々に公表されます。今回の富山では、「ゼロカーボン社会」をメインテーマとして、これからの新しいアルミニウム合金に関する研究と技術開発について議論することを目的としています。奇しくも、富山にアルミ産業の誘致を提唱した高峰譲吉氏(高岡市出身。タカジアスターゼ、アドレナリンを発見)の没後100年目の開催となりました。

■ 国際会議の背景

国際アルミニウム合金国際会議 (ICAA) は、1986年にアメリカ合衆国バージニア大学で第1回会議が開催されて以来、アジア、アメリカ、ヨーロッパの順に2年毎に開催されています。米国ピッツバーグ (2012年)、ノルウェー・トロンハイム (2014年)、中国・重慶 (2016年)、カナダ・モントリオール (2018年)、そして2020年のフランス・グルノーブルはコロナウィルスのため、完全オンライン開催となりました。2022年の日本・富山は、コロナウィルスに配慮したICAAとしては初の対面とオンラインを併用したハイブリッド形式での開催を9月5日～9月8日の日程で計画しています。

■ 国際会議の内容・成果

すでに300件近い研究発表申込みを終え、最終プログラムが近々に公表されます。今回の富山では、「ゼロカーボン社会」をメインテーマとして、これからの新しいアルミニウム合金に関する研究と技術開発について議論することを目的としています。

9月5日の開会式は東京工業大学名誉教授・熊井 真次 組織委員会委員長、齋藤 滋 富山大学長の挨拶で開会します。引き続き、プレナリー講演として、熊井 真次 組織

委員会委員長、アメリカ合衆国バージニア大学の G. J. Shiflet 教授の 2 件の発表が対面で行われる予定です。プレナリー講演としては、日本アルミニウム協会・水口 誠 会長、アルハイテック(株)代表取締役・水木 伸明 社長、アーヘン工科大学・ハイドロ Jürgen Hirsch 教授、ノルウェー科学技術大学・Knut Marthinsen 教授の計 6 件です。若手研究者の啓蒙を意図して若手研究者の中から選考された若手研究者賞 (ECR) 発表 5 件も行われる予定です。基調講演、招待講演を含む一般口頭発表とポスター発表の計 300 余件が 3.5 日間にわたり行われます。

さらに、アルミニウム製品に関する企画展示を下記の通り行います。北陸地域を代表するアルミニウムに関する工業製品の展示や、日本が誇るアルミ製品に贈られる小山田記念賞 (注 1) 受賞製品の展示を行います。広く富山市民、県民の皆様にも無料公開いたしますので、ぜひ見学にお越しください。

会期：2022 年 9 月 5 日～9 月 7 日、時間：10：00～17：00、参加費：無料

場所：富山国際会議場 1 F 交流ギャラリー、2 F 会議室 205-206

※上記以外の会場は参加費が必要です。ご注意ください。また展示物は主に英語表記となっておりますことをご了承ください。

■今後の展開

「ゼロカーボン社会」をメインテーマとしており、アルミニウム合金の基礎学理から、製造、製品化、そしてアルミニウム合金のリサイクルを踏まえたすべての内容が議論され、アルミ産業の一大集積地である富山の地から、SDGs を踏まえた新しいアルミニウム合金の研究と技術革新に関する情報発信が期待されます。

【用語解説】

・注 1：小山田記念賞は、(財)軽金属奨学会元理事長、故小山田裕吉氏の功績を記念するもので、我国における軽金属の生産ならびに製品の製作に関係した優れた技術を対象とし、その技術を確立した発明、考案あるいは研究の功績者に贈られるものです。

■論文集の発刊

今回の国際会議の発表論文においては、発表者の意志で、Materials Transactions 特集に投稿していただくことになっています。通常の編集、peer review の後、掲載可となった論文のみが Materials Transactions 誌 2023 年 1 月号に「Special Issue on Aluminium and its Alloys for Zero Carbon Society, ICAA 18」として掲載予定です。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 松田健二

TEL：076-445-6839(直通) Email：matsuda@sus.u-toyama.ac.jp

ウェブサイト：<https://icaa18.org/>